

白山山系 緑の回廊

管轄森林管理局 署

中部森林管理局・富山森林管理署、飛騨森林管理署
近畿中国森林管理局・福井森林管理署、石川森林管理署

所在地

富山県南砺市、岐阜県高山市・大野郡白川村、福井県大野市・勝山市、石川県白山市・金沢市

面積

42,867ha

設定年

平成14年

緑の回廊の概要 設定目的)

富山、岐阜、石川、福井の4県にまたがる白山山系は、庄川、手取川、九頭竜川、長良川等の源流であり、中部地区の貴重な水源地域として我々の生活に重要な役割を果たしているのみならず、原生的な天然林が広範囲で残存しており、全国でも西限とされる植物が多く分布するなど貴重な自然環境を有する地域として位置づけられている。

連結する保護林は、白山森林生態系保護地域、大白川ドロノキ遺伝資源希少個体群保護林、犀川源流生物群集保護林、千丈平生物群集保護林、嵐谷天然スギ希少個体群保護林、釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林、以上の7箇所、17,590haであり、緑の回廊と保護林との合計面積は60,457haである。



国指定特別天然記念物 カモシカ



日本三鳴鳥 オオルリ

中部森林管理局官内のモニタリング調査の概要

実施年度

令和1年度

調査項目

樹木の生育状況、野生動物の生息状況（哺乳類、鳥類、ツキノワグマ・ニホンジカの被害、農林産物被害・狩猟鳥獣）

調査手法

既設の調査プロット6箇所において、森林概況調査、哺乳類調査（フィールドサイン、自動撮影）、鳥類調査（スポットセンサス法）、及びツキノワグマ・ニホンジカによる林業被害状況調査を行った。
また農林産物被害と狩猟鳥獣に関して、資料調査と聞き取り調査を行った。

結果概要

- ・調査プロット及び周辺森林の林相に大きな変化は見られなかった。
- ・哺乳類は12種が確認された。イノシシが最も多く確認され、次いでキツネが多く確認された。
- ・鳥類は10目29科77種が確認された。平成26年度調査と比較して、ツミ、ミサゴ、イヌワシの猛禽類をはじめ、6種が新たに確認された。
- ・林業被害について、ツキノワグマ・ニホンジカによる造林木への皮剥ぎは確認されなかった。
- ・農産物被害について、イノシシ・ニホンジカによるものが増加しており捕獲頭数も増えた。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。